蟹と水仙の文学コン

人賞作品

平成27年2月号

広報えちぜん

6

俳句部門(小

織田小学校 「えちぜんのたびのだいごみ 三年 矢田部 わいがに」

城崎小学校 瓜生小学校 一 四 年 年 中藤 橋 田 知 琉 希 生

奨励賞

瓜生小学校 朝日小学校 城崎小学校 四 年 三年 柿 河 岩 原崎 海 由吏 香

俳句部門(中学生の部

朝日小学校 朝日小学校

五年 二年

清次朗

堤 阪

絵

梨

賞

朝日中学校 「トンネルを抜けて広がる水仙花」 二年 佐々木 ИÞ う

奨励賞

朝日中学校 朝日中学校 三年 二年 御高 嶽 松 彩 尚 乃 輝

作

朝日中学校 朝日中学校 朝日中学校 朝日中学校 織田中学校 二年 一 一 二 年 年 年 須 梅 佐 山 木岸 部田 麻佑加 佑 莉 樹 瑞

凌

俳句部門(高校生の部)

賞

丹生高等学校 「旅立つ子元気でやれと 三年 谷口 加那子

カニもたせ」

奨励賞

埼玉県立所沢高等学校 一年 丹生高等学校 三年 小 髙 谷 野 大

埼玉県立所沢高等学校 一年 仁愛女子高等学校 二年 丹生高等学校 仁愛女子高等学校 埼玉県立所沢高等学校 一年 三年 年 三田村 戸 松 横 佐 本 地 俣 丸 裕



優地

佳那子 万里緒 ひなの 志



俳句部門(一般の部)

滋賀県草津市 「皇后の御手に見舞の水仙花」 次

だけどじいじは、てんごくにいっちゃった

いつもとってもいいにおい。ふゆのおうちのげんかんは、

てとどけてくれたよ。

すいせんが、とどかない。

ふゆになっても

さみしいな。

福井県福井市 福井県福井市 青 山 木 内

静岡県静岡市

長野県長野市 大阪府藤井寺市 中 木

詩部門(小学

賞

朝日 小学校 年 谷 悠 帆

たくさんすいせんのおはなを

大 賞

福井県敦賀市 神奈川県横浜

康

じいじがいつも ふゆになると

大和田 山竹

子登夫身聡

「じいじのすいせん」

奨励賞

かよ子

じゃあこんどは、わたしがじいじに、

康 修

てんごくもいいにおいですか。」「じいじすいせんもってきたよ。すいせんのおはなをかざるね。

じいじのおぶつだんに すいせんをとどけるよ

奨励賞

四ヶ浦小学校 朝日小学校

三年 一年

爱 華 弥 音

堀 西

野

大

とどけてくれたよ。

「おうい、すいせんをもってきたぞう。」にこにこ おおきなこえで

織田小学校 朝日小学校

一年

衣

常磐小学校 常磐小学校 四ヶ浦小学校 四年 四年 宮 中 岩 熊上 亜衣梨 航 涼 大 乃 空

詩部門(高校生の部

詩部門(中

武生第三中学校

三年

Ш

 \Box

梨

絵

賞

「水仙の花」

波の間に

消えては浮かび

賞

「おばばに」 仁愛女子高等学校 西 岡 茉 愉

大事な、大事な

あなただから。

どこかへいってしまうけれど

わたしのあたたかい手

落ちていったのだ

冬のお出かけ

水仙畑

奨励賞

仁愛女子高等学校

一年

近

藤

眞

未

迷子になった小さなわたし

遠くで呼ぶ しわがれ声

佳

作

仁愛女子高等学校

三年

宇

野

遥

香

時に目をつむり 時にまたたき 流れゆく祖父の灯り

ゆっくりと視界から消えて

ゆく

わたしのつめたい手、にあなたのあたたかい手 にぎる。

大事な、大事な どこかへいってしまわぬように あなただから。

あの日おわった

冬になり

季節が移ろいで

やがて

そして天空でゆっく 還ってゆく灯籠 海峡を越え 霧をまとい

くつろぐ

長い旅

明治生まれのわたしのおばば しわがれ声は届いたかしら

ぬく あなたに一輪花、にぎる もらったわたしの手

奨励賞

私の胸に帰ってきた

水仙の花となって 旅を終えた魂は 海が荒れる頃

ふたたび

越前中学校 朝日中学校

三 三年 年

河 青

邉 木

愛須花 也

凜と生きた あなたみた 白く真っ直ぐ立つ水仙、 あなたみたい。

あなたのつめたい手

わたしのあたたかい手、にぎる

凛

あなたのつめたい手

詩部門

林

福井県坂井市 「釣瓶」 秋

りの音が聞こえた どこかでだれかをさがすような蟹の足づ 刹那のようにそこに止まっている 花枝をぬける音にまじって暮れかたが たとえることのできない日日が 水仙の丘の上を風の日は又つづいていた

向かって 放たれる そこで果てしなく深さがつづく井戸へ

吐息 ひとすじのより 一本の吹矢 しろに向かってながす

さになってあの日釣瓶は追いかけるいとまもなく逆あの日釣瓶は追いかけるいとまもなく逆 よりそうものは冬の風にさらされていた

> のだ 雨の日があった。そしてその果てにうすくけぶるような小 遠くのなにかが少しかるくなった気配な それもやがて少しづつ消えていった そこからかすかな傘を打つ気配があたり 一日が刹那のように過ぎて な日がつづいて それから朝が夜を想い夜が朝を恋うそん どこかで水面を打つ乾いた音が聞こえた 風に揺れていた すりきれた縄が西の夕日に照らされて いちめんにたちこめると いった

奨励賞

福井県坂井市 福井県越前市 大阪府大阪市

生

勇

とも子

上 西 飯 野

佳 大阪府堺市

福井県越前町 広島県広島市 京都府京都市

佐 阪 は 幸 つ え 佳 賢

平成27年2月号

三年

新出 井 店

三 一年 年 和 真 理 依 友 莉

越前中学校 作

三年

越前中学校 越前中学校 越前中学校

島島 田田

越前中学校

実 美

広報えちぜん